

「恋人の聖地」157人てくてく

JRヘルシーウォーキング 旧愛国駅→旧幸福駅



笑顔で旧愛国駅をスタートする参加者

JR北海道（札幌、中島尚俊社長）が主催する「JRヘルシーウォーキング」が17日に開かれ、157人の参加者は帯広市内の旧愛国駅から旧幸福駅までの11・5キロで散策を楽しんだ。

「ヘルシーウォーキング」は1995年から毎年行われている。全道各地の市町村の自然や歴史に触れながら、ゴ

ールまでの道のりを歩くイベント。今シーズンは38回予定されている。

2007年に「恋人の聖

地」に認定された両駅をPRしようと帯広商工会議所が誘致。他会場ではJR駅を発着点とするコースが多いが、帯広では観光スポットとなっている廃止駅間のコースを設定した。

参加者は愛国駅に到着後、記念撮影などをして幸福駅に向けて出発。会場では帯広商工会議所が「おびひろ極上水」、北海道米販売拡大委員会とホクレンが北海道米をPR。ミス北海道米の山崎有加里さんが「ふっくりんこ」の新米を使ったおにぎりとPRグッズを参加者一人ひとりに手渡した。

札幌から参加した田野倉正志さん（73）、敦子さん（70）の夫婦は、「ヘルシーウォーキング」に毎月2、3回参加しており、今回も楽しみにしてきた。結婚47年目だが「恋人の聖地」を歩き、さらに仲を深めたい」と笑顔で話していた。

（大谷健人）